

# 令和8年度 シラバス

科目	単位数	学年					
書道 I	2	1					
教科 書番号・教科書名		副 教 材					
002 東書 書 I 002-901		なし					
学習の目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書の上さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい、捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。						
評価の方法	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	・書道に関する事項について理解している ・古典の特徴を理解している ・用筆・運筆を理解している	・古典の特徴を生かし、書くことができる ・用法・運筆を習得している ・字形・点画の太さ等に留意し、書くことができる	・授業の取り組み姿勢や、プリントの書き込み内容等を評価の参考とする				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	書写から書道へ	書写と書道の関係／書の分野／文房四宝／書道用語	・書写と書道の共通点と相違を理解する ・書の分野について理解する ・書道用語と意味・用法・用材について理解する	○		○
	5	漢字の書 (楷書)	漢字の成立と変遷	漢字の成立と変遷について理解する	○		○
			「孔子廟堂碑」	特徴を理解し、伸びやかな線と向勢で書ける	○	○	○
			「九成宮醴泉銘」	特徴を理解し、整然とした背勢で書ける	○	○	○
			「雁塔聖教序」	特徴を理解し、変化に富んだ用筆で書ける	○	○	○
			「牛欄造像記」	特徴を理解し、方筆・方勢で書ける	○	○	○
			「自書告身」	特徴を理解し、顔法や向勢で書ける	○	○	○
7	倣書	古典の特徴を生かし表現する	○	○	○		
第2学期	9	(行書)	行書の特徴	・行書について理解する ・多用される用筆・運筆を理解し、書くことができる	○	○	○
			「蘭亭序」	特徴を理解し、筆脈や抑揚に留意して書ける	○	○	○
			「争坐位文稿」	特徴を理解し、重厚な用筆で書ける	○	○	○
			「風信帖」	特徴を理解し、筆脈や抑揚に留意して書ける	○	○	○
	11	篆刻	篆刻について	篆刻について理解する	○		○
			実習	・しっかりした印稿を作る ・基本的な篆刻の方法を習得する	○	○	○
	12	仮名の書	仮名の成立	仮名の成立と変遷について理解する	○	○	○
			基本線	仮名の用筆・運筆を習得する	○	○	○
			単体	用筆・運筆を習得し、しっかりした線が書ける	○	○	○
			連綿	連綿について理解し、用筆・運筆を習得する	○	○	○
	第3学期	1	散らし書き	散らし書きについて理解する	○	○	○
		2	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書について	漢字仮名交じりの書について理解する	○	○
文字の大きさ・構成				文字の大小・配置について理解し、書くことができる	○	○	○
イメージ				言葉から受けるイメージを表現する	○	○	○
3	創作	好きな漢字仮名交じりの言葉を字形・大きさ・構成を考えて表現する	○	○	○		